

講義名	キャリア入門				授業形態	
担当教員	前川 明	開講期・曜日・時限		後期 水曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生	ナンバリング・コード

主題と概要

この科目は、キャリアデザインとは何かを学び、自分と社会についての理解を深め、自分にとってより良い人生を選択できるようになることが目的です。まず、第一段階として大学生活を充実させるためのキャリアデザインについて担当教員や受講者同士で考えていく授業です。

到達目標

キャリアデザインの考え方を知ったうえで、自分にとってより良い人生を選択できる。
そのために、具体的に以下の①～③を目標とする。

- ① コミュニケーションについて、相手の立場に立った伝え方、聴き方ができる。
- ② 業界や職種などの違い、働き方（ワークスタイル）を理解し、卒業後のイメージができる。
- ③ 社会が求める人材像や能力を知ること、将来に向けて学生時代の目標設定ができ、その習得プロセスを計画して、充実した学生生活を過ごせる。

提出課題

- ・毎回授業のミニレポート
- ・課題レポート（3回）
- ・期末レポート

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題（レポートや小テスト等）を提出した次の授業で、課題の全体講評を実施します。また、毎回の授業で提出するミニレポートについてはクリッカー（Respon）を使用し、次の授業の冒頭で、前回授業のミニレポートの内容（感想、質問）を紹介し、必要に応じて、解説、回答を行います。

評価の基準

- ・毎回の授業に関連してのミニレポートの作成（45点）
- ・課題レポート（宿題）（5点×2回、10点×1回）
- ・期末レポート（35点）

※期末レポートの提出のない場合は単位認定しませんが、必ず期末レポートの提出をお願いします。

※それぞれの課題は期限内の提出、内容、記入量（指定された文字数以上）を基に評価するため、提出しただけでは評価しませんので、注意してください。

※5回以上欠席の場合は不可とします。

履修にあたっての注意・助言他

- ・この授業はいずれ社会に出て行くための練習の場でもあるため、社会生活を送る上で必要なルールやマナー（時間を守る、私語を慎む等）を守って出席してください。
- ・出席して講義を聴き、グループワークに参加することが大切な授業ですので、休まず出席してください。
- ・特に先輩達の就職活動について報道されるニュースについては出来るだけチェックしてください。
- ・提出課題（課題レポートなど）は必ず提出してください。

教科書

・使用しない。				

参考図書

その他		
その都度、資料の配布と参考文献を紹介します。		
授業計画		
1 オリエンテーション <予前>シラバス、特に主題と概要、到達目標を事前に確認すること。キャリアに関する内容について、インターネットや本学図書館などを利用し、下調べしておくこと。（120分） <復習>講義内容を整理すること。また、講義内容に関連する情報を収集して理解を深めること。（120分）		
2 キャリアプランニング～POCAサイクル～ <予前>POCAサイクルに関する内容について、インターネットや本学図書館などを利用し、下調べしておくこと。（120分） <復習>講義内容を整理すること。また、学んだことを大学生活で活用できるように考えて行動すること。（120分）		
3 物の見方を変える～バロタイムシフト～ <予前>バロタイムシフトに関する内容について、インターネットや本学図書館などを利用し、下調べしておくこと。（120分） <復習>講義内容を整理すること。また、学んだことを大学生活で活用できるように考えて行動すること。（120分）		
4 コミュニケーション① <予前>自身の自己紹介について、相手（大学生、社会人など）に応じた内容を考え、それぞれ1分程度で話せるように準備しておくこと。（120分） <復習>講義内容を整理すること。また、学んだことを大学生活で活用できるように考えて行動すること。（120分）		
5 コミュニケーション② <予前>コミュニケーションに関する内容について、インターネットや本学図書館などを利用し、下調べしておくこと。（120分） <復習>講義内容を整理すること。また、学んだことを大学生活で活用できるように考えて行動すること。（120分）		
6 価値観について <予前>自分自身の高校時代までを振り返った上で、自分が大切にしている価値観について考えておくこと。（120分） <復習>講義内容を整理すること。また、学んだことを大学生活で活用できるように考えて行動すること。（120分）		
7 グループディスカッション <予前>グループワーク、ディスカッションやファシリテーションの内容について、インターネットや本学図書館などを利用し、下調べしておくこと。（120分） <復習>講義内容を整理すること。また、学んだことを大学生活で活用できるように考えて行動すること。（120分）		
8 前半授業の振り返りと分かち合い（シェアリングレポート①） <予前>前半授業を振り返り、印象に残ったこと、自分にとって学びのあったことを整理し、書き出しておくこと。（120分） <復習>グループ内での発表内容を整理すること。また、学んだことを大学生活で活用できるように考えて行動すること。（120分）		
9 社会の動きを知る <予前>最近の政治、経済、国際情勢について書かれている本や新聞記事や雑誌を読んだり、ニュースをチェックしておくこと。その内容について、インターネットや本学図書館などを利用し、深く理解するために下調べをしておくこと。（120分） <復習>講義内容を整理すること。また、講義内容に関連する情報を収集して理解を深めること。（120分）		
10 仕事を知る <予前>興味のある企業や自治体について、ホームページや本学図書館などを利用し、下調べしておくこと。（120分） <復習>講義内容を整理すること。また、講義内容に関連する情報を収集して理解を深めること。（120分）		
11 面接体験 <予前>就職活動で実施される面接の内容について、就職サイトや本学図書館などを利用し、下調べしておくこと。（120分） <復習>講義内容を整理すること。また、学んだことを大学生活で活用できるように考えて行動すること。（120分）		
12 課題解決ワーク <予前>世の中にある社会課題について、インターネットやテレビのニュース、新聞、本学図書館などを利用し、下調べしておくこと。（120分） <復習>講義内容を整理すること。また、学んだことを大学生活で活用できるように考えて行動すること。（120分）		
13 内定者から学ぶ <予前>ゲスト内定者の内定先企業（自治体）について、インターネットや就職サイト、本学図書館などを利用し、下調べしておくこと。（120分） <復習>講義内容を整理すること。また、学んだことを大学生活で活用できるように考えて行動すること。（120分）		
14 目標設定 <予前>自身の目標（短期、長期）について、自分なりに考え、授業内で発表できるように準備しておくこと。（120分） <復習>講義内容を整理すること。また、学んだことを大学生活で活用できるように考えて行動すること。（120分）		
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
☐	ウ：ディスカッション、ディベート	☐
☐	エ：グループワーク	
☐	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
☐	キ：その他（A L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
当該科目は、キャリアデザインとは何かを学び、自己と社会についての理解を深め、自己にとってより良い人生を選択できることを目的とした授業であり、「新しい視点と豊かな発想によって、新しい価値を生み出すことができる」という本学のOP（ディプロマポリシー）とまさに合致しています。科目の目的を達成するためにグループワークやディスカッションを多く取り入れることで他者理解、協調性を身につけることができます。という仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材」を育成するという本学の目標とも合致していると考えます。		
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述		
単なる知識やスキルの詰め込みではなく、体験を通した学習を重視するため、みなさんが主役のグループ・ワークやディスカッションが多くなります。担当教員は、皆さんと一体となって学習できる場づくりと見えあう人間関係づくりを行います。皆さん方の自己理解および相互理解の促進と、それぞれの目標や計画づくりに対して、熱意を持って支援します。また、授業内での説明や毎回授業のミニレポートはクリッカー（Respon）を使用し、授業中の教員からの説明についてはリアルタイムで意見の解説を行い、授業最後に回答するミニレポートについては次の授業の冒頭で、前回授業のミニレポートの内容（感想、質問）を紹介し、必要に応じて、解説、回答を行います。		
実務経験の有無及び活用		
実務経験あり 小売業での販売職（3年）、洋菓子メーカーでの人事（採用・教育）（5年）を経て、その後、20年間、キャリア教育の講師、就職アドバイザーとして大学生の就職支援、キャリア教育、転職者の面接指導、面接のセミナー、企業の採用支援（面接代行）に従事している。その経験を生かして、大学での学びや大学生活（課外活動など）での経験が、どのように社会で役に立つのかを実例を交えて解説を行います。		
備考		